

令和5年度における指定管理者の評価結果 目次

施設名	ページ
1 山口市南部運動広場	
事務事業評価表	1
モニタリング評価表	2
2 やまぐちリフレッシュパーク	
事務事業評価表	3
モニタリング評価表	4
3 山口市スポーツの森	
事務事業評価表	5
モニタリング評価表	6
4 山口市小郡屋内プール	
事務事業評価表	7
モニタリング評価表	8
5 やまぐちサッカー交流広場	
事務事業評価表	9
モニタリング評価表	10
6 山口市菜香亭	
事務事業評価表	11
モニタリング評価表	12
7 クリエイティブ・スペース赤れんが	
事務事業評価表	13
モニタリング評価表	14
8 山口市民会館	
事務事業評価表	15
モニタリング評価表	16
9 山口情報芸術センター	
事務事業評価表	17
モニタリング評価表	18
10 中原中也記念館	
事務事業評価表	19
モニタリング評価表	20
11 嘉村礪多生家	
事務事業評価表	21
モニタリング評価表	22
12 十朋亭維新館	
事務事業評価表	23
モニタリング評価表	24
13 国民宿舎秋穂荘	
事務事業評価表	25
モニタリング評価表	26
14 湯田温泉観光回遊拠点施設	
事務事業評価表	27
モニタリング評価表	28
15 新山口駅観光交流センター	
事務事業評価表	29
モニタリング評価表	30
16 大原湖キャンプ場	
事務事業評価表	31
モニタリング評価表	32
17 山口市宮野地域交流ステーション	
事務事業評価表	33
モニタリング評価表	34
18 山口市大歳地域交流ステーション	
事務事業評価表	35
モニタリング評価表	36

事務事業評価報告書

施設名 山口市南部運動広場

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		平成19年度から指定管理者制度を導入し、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの振興)を実施しました。 ・指定管理者 (株)ヴィンツァーレ 指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	スポーツ施設の利用環境の充実	
事業開始背景等		市民の心身の健康増進とスポーツの普及振興を図るため昭和56年に設置されました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		市南部地域の屋外運動施設として、多くの方に利用されています。屋外施設のため利用は天候に左右される施設です。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なることから再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>施設の維持管理は適正に行われるとともに、ニーズに沿った自主事業を実施されています。適正な維持管理に加え、地域と連携した取組やサービス向上に向けた取組を実施されています。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市南部運動広場

指定管理者: 株式会社ヴァイツァーレ

指定期間: 令和4年度～令和8年度

評価項目	評価コメント	評価					評点				
		不実行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)					
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正かつ公平に利用許可業務等が行われています。また、鍵施錠や修繕など適正な施設管理が行われています。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	清掃、保守点検などについて適正に行われています。常に良好な状態に保たれるよう点検や修繕等を実施されています。			☆				3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託先から業務報告書等の提出を受け、実績等を管理しており、業務の監督は適正に行われています。			☆				3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	適正に職員配置が行われています。また、講習会やAED研修を実施されています。			☆				3	
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域、団体等との協働により、清掃作業等を実施するなど、地域からも頼まれる施設づくりに努められています。また、隣接の浄明苑との駐車場の利用協力も行われています。			☆				3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情処理など適切に対応し、利用促進への取組がなされています。また研修等を実施して、利用者サービスの向上が図られています。			☆				3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	関係法令等を遵守され、労働環境は整えられています。			☆				3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	利用調整会議で予約調整を行う等、平等利用に関する基本姿勢は適切です。			☆				3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護や取扱いについて、その重要性を認識し、職員間で徹底されています。			☆				3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	雨天時等の荷物置き場等として、旧管理事務所を提供されています。また、熱中症対策として氷を無償配布されています。斜面等の樹木点検等を実施されています。			☆				3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時対応体制の確立や初期対応を円滑に行えるように緊急連絡網が作成されています。日々の業務連絡等において、危機管理意識の醸成が図られています。			☆				3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設のホームページを開設するとともに、紙媒体による施設だよりを発行し、広く情報提供が行われています。			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	屋外施設のためグラウンド等の維持管理に努めています。雨天時の着替え場所や荷物置き場として旧管理事務所の開放、簡易テントの無料貸し出しなど、サービスの向上に努めています。				☆		4	
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	幅広い年齢層に対応した自主事業が行われています。				☆			4
改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	施設利用者へのアンケートを実施され、利用者の意見・要望を聞き、より良い施設の管理運営及びサービスの提供に努められています。			☆				3		
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	屋外施設のため天候にも左右されますが、サービス向上や自主事業等の展開により利用者の確保に努められています。自主事業収益についても、前年度から増額となっています。				☆		4	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	予算の範囲内で適正に執行されています。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	様々な経費が高騰となっている中でも、概ね安定的な経営が行われています。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されています。			☆			3	
評点合計							標準数	57	加算	3	60
審査結果	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者が戻りつつある中で、民間事業者のノウハウを活かし、安心・安全を第一とした施設運営、利用者数の増加及び収入確保に取り組みました。						年度評価		A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価				
		A	A								
総評		—									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：やまぐちリフレッシュパーク

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		平成19年度から指定管理者制度を導入し、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの普及振興)を実施しました。 ・指定管理者 ㈱多々良造園 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	スポーツ施設の利用環境の充実	
事業開始背景等		市民の心身の健康増進とスポーツの普及振興を図るため、総合体育館を中核にスポーツレクリエーションの拠点として平成10年に設置されました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		様々な種目で活用できるスポーツ拠点施設として、大規模な大会から練習まで、幅広い用途で多くの方に利用されています。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なることから再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>施設の維持管理は適正に行われるとともに、ニーズに沿った自主事業を実施されています。 適正な維持管理に加え、器具等の充実や利用者の安全に配慮した取組を実施されており、本市の主要スポーツ施設としての役割を果たされていると判断します。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: やまぐちリフレッシュパーク

指定管理者: 株式会社多々良造園

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目	評価コメント	評価					評価				
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)					
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正かつ公平に利用許可業務等が行われています。また、鍵施設や修繕など適正な施設管理が行われています。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	清掃、保守点検などについて適正に行われています。常に良好な状態に保たれるよう点検や修繕等を実施されています。屋外についても緑地帯も含め景観が保たれるように管理されています。				☆			4	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託先から業務報告書等の提出を受け、実績等を管理しており、業務の監督は適正に行われています。				☆			3	
	人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	適正に職員配置が行われています。内部研修や体育施設管理士等の外部研修等に参加し、職員の育成・指導が行われています。また上級救命講習を受講するなどAED設置救急ステーションとしても認定されています。				☆			3	
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協力が適切に行われていたか。	地元水利組合との共同草刈作業等に協力されています。やまぐち路傍塾に登録し講師として派遣もされています。次内地域交流センターと協議の上、いつでも避難所として開設が行えるような体制を整えられています。				☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情処理など適切に対応し、利用促進への取組がなされています。また研修等を実施して、利用者サービスの向上が図られています。				☆			3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	関係法令等を遵守され、労働環境は整えられています。労働環境改善として、職員アンケートの実施、有給休暇取得の徹底管理、各種休暇制度の取得促進等が行われています。				☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	利用調整会議で予約調整を行う等、平等利用に関する基本姿勢は適切です。				☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護や取扱いについて、その重要性を認識し、職員間で徹底されています。				☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	日常点検・定期点検をはじめ、救命講習等の受講、AEDの設置場所の明示やPM2.5や熱中症の予報を利用者に告知するとともに温度湿度測定器を設置するなどの安全対策やケガの対応として給湯室に氷入れや冷蔵庫を設置されています。				☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時対応体制の確立や初期対応を円滑に行えるように緊急連絡網が作成されています。日々の業務連絡等において、危機管理意識の醸成が図られています。				☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設のホームページやSNSを開発するとともに、紙媒体による施設だよりを発行し、広く情報提供が行われています。また、公式「LINE」を開発し、利用者へ各種情報を提供されています。				☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	窓口にPCを設置し予約システムを誰でも利用できるようにされています。市のトレーニング機器やニュースポーツ用具以外に独自に器具等を導入され充実が図られています。芝生広場を積極的に開放され、グラウンドゴルフ等に利用されるなど、サービス向上に努めています。				☆			4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	幅広い年齢層に対応した自主事業が行われています。					☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	施設利用者へのアンケートを実施され、利用者の意見・要望を聞き、より良い施設の管理運営及びサービスの提供に努められています。				☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	サービス向上や自主事業等の展開により利用者の確保に努められています。自主事業収益についても、前年度から増額となっています。				☆			4
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	物価高騰等の影響に伴い、当初収支と差異がある科目がありますが適正に執行されています。				☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	様々な経費が高騰となっている中でも、概ね安定的な経営が行われています。				☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されています。				☆			3
評点合計							標準数	57	加算	4	61
審査結果	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者が戻りつつある中で、民間事業者のノウハウを活かし、安心・安全を第一とした施設運営、利用者数の増加及び収入確保に取り組みました。						年度評価		A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		-		
総評		S	A	A							

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市スポーツの森

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		指定管理者制度(平成20年度導入)を活用して、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの普及振興)を実施しました。 ・指定管理者 ㈱多々良造園 指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 ・ネーミングライツ導入 ネーミングライツパートナー 山口マツダ株式会社 期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	スポーツ施設の利用環境の充実	
事業開始背景等		市民の心身の健康増進とスポーツの普及を図るため、西京スタジアムを中核とした公式野球場として平成7年に設置されました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		県下有数の野球場として、大規模な大会から練習まで、幅広い用途で多くの方に利用されています。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なることから再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の維持管理は適正に行われています。 県内有数の野球場として、常に最良の環境を維持するように努められる等、利用者からの評価も高い施設と認識しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市スポーツの森

指定管理者: 株式会社多々良造園

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点				
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)					
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正かつ公平に利用許可業務等が行われています。また、鍵施設や修繕など適正な施設管理が行われています。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	清掃、保守点検などについて適正に行われています。常に良好な状態に保たれるよう点検や修繕等を実施されています。特に、スタジアムの芝や施設外周については常に良好な状態を維持され、利用者からも好評を得ています。				☆			4	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託先から業務報告書等の提出を受け、実績等を管理しており、業務の監督は適正に行われています。				☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	適正に職員配置が行われています。また、消防訓練、救命訓練やチェーンソー研修等によって、職員の育成・指導が行われています。また上級救命講習を受講するなどAED設置救急ステーションとしても認定されています。				☆			3	
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	青葉台団地の法面草刈等が行われています。地域行事への連携、協力や職場見学等に協力されています。やまぐち路傍塾に登録し講師として派遣もされています。				☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情処理などに適切に対応する体制を整えており、利用促進への取組がなされています。また研修等を実施して、利用者サービスの向上が図られています。				☆			3	
	労働環境	・良質なサービス提供するための労働環境は充実していたか。	関係法令等を遵守され、労働環境は整えられています。				☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	利用調整会議で予約調整を行う等、平等利用に関する基本姿勢は適切です。				☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護や取扱いについて、その重要性を認識し、職員間で徹底されています。				☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	施設内の定時巡回を行い、不測の事態に備えられています。P.M2.5や熱中症、雷雨情報を事前提供しています。また、大会時等にはAED貸し出しや熱中症対策として会議室等の提供を行うなど好評を得ています。				☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時対応体制の確立や初期対応を円滑に行えるように緊急連絡網が作成されています。日々の業務連絡等において、危機管理意識の醸成が図られています。				☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設のホームページを開設するとともに、紙媒体による施設だよりを発行し、広く情報提供が行われています。大会等のキャンセル時には高校等にFAXで通知をし好評を得ています。				☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	芝生の維持管理の徹底により利用者の利用満足度につながっています。大会結果のHP掲載、敷地内ウォーキング等で利用される方への駐車場開放などサービス向上に努めています。また、スコアボードの操作研修会を開催し質の高い大会運営を支えています。				☆			4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	自主事業として開催したスポーツ教室では、各年代から好評を得ています。				☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	施設利用者へのアンケートを実施され、利用者の意見・要望を聴き、より良い施設の管理運営及びサービスの提供に努められています。				☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	屋外施設のため天候にも左右されますが、サービス向上や自主事業等の展開により利用者の確保に努められています。				☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	物価高騰等の影響に伴い、当初収支と差異がある科目がありますが適正に執行されています。				☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	様々な経費が高騰となっている中でも、概ね安定的な経営が行われています。				☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されています。				☆			3
評点合計							標準数	57	加算	2	59
審査結果	新型コロナウイルス感染症及び西京スタジアムの改修工事の影響により減少した利用者が戻りつつある中で、民間事業者のノウハウを活かし、安心・安全を第一とした施設運営を行うとともに、施設内の環境美化にも熱心に取り組まれました。その結果、利用者サービスの向上につながりました。						年度評価				A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目					
		S	S	S	A	A					
総評	5年間の指定管理期間を通じ施設の管理運営は適正に実施され、年度ごとの評価についても「A」以上となっています。基本協定に定められた内容を適切に実施され、特に施設の「維持管理業務」及び「利用者サービスの向上」に努められていることは評価できます。以上の点を踏まえ、総合評価を良好としました。						総合評価				良好

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市小郡屋内プール

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		指定管理者制度(平成24年度導入)を活用して、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの普及振興)を実施しました。 ・指定管理者 ナカムラ・タタラゾウエン・ピークルーエッセ共同企業体 指定管理期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	スポーツ施設の利用環境の充実	
事業開始背景等		市民の心身の健康増進とスポーツの普及振興を図るため、平成3年に設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		年間を通して運営している屋内プール施設として、多くの方に利用されています。令和4年10月から令和5年7月までの改修工事に伴い、施設を休館したことにより利用者数が減少しています。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なることから再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>施設の維持管理は適正に行われるとともに、ニーズに沿ったさまざまな自主事業を実施されています。改修工事に伴い令和4年10月から令和5年7月まで施設を休館しました。再開後は引き続き利用者数の増加と満足度向上に向けた取組を実施されています。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:小郡屋内プール

指定管理者:ナカムラ・タタラソウエン・ピークルーエッセ共同企業体

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目	評価コメント	評価					評点				
		不履 行多 数 (1点)	一部 不履 行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に 優秀 (5点)					
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正かつ公平に利用許可業務等が行われています。また、鍵施錠や修繕など適正な施設管理が行われています。			☆			3	
	維持管理業務	清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	清掃、保守点検などについて適正に行われています。常に良好な状態に保たれるよう点検や修繕等を実施されています。			☆				3	
	再委託監督	再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託先から業務報告書等の提出を受け、実績等を管理しており、業務の監督は適正に行われています。			☆				3	
	人員配置 職員研修	適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	適正に職員配置が行われています。救助法訓練や泳法研修を定期的に実施するなど、職員の育成・指導を図り、事故防止に努められています。また上級救命講習を受講するなどAED設置救急ステーションとしても認定されています。			☆				3	
	地域連携	清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域イベントへの協力など、地域や各種団体と連携しています。			☆				3	
	接客対応	苦情に対する対応は適切であったか。 接客対応は適切であったか。 利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情処理など適切に対応し、利用促進への取組がなされています。また研修等を実施して、利用者サービスの向上が図られています。			☆				3	
	労働環境	良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	関係法令等を遵守され、労働環境は整えられています。			☆				3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	目的別にレーンを設置するなど、公平性・平等性を保ちながら、利用の促進が図られています。			☆				3	
	個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護や取扱いについて、その重要性を認識し、職員間で徹底されています。			☆				3	
	安全対策	日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	フロント・監視員のトランシーバー携帯により安全確保や急病人発生時等の緊急対応の体制がとられています。救助用ブイ、水上タンカの営業前点検や緊急時の訓練実施や清掃等により日々の安全対策が行われています。			☆				3	
	危機管理	防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時対応体制の確立や初期対応を円滑に行えるように緊急連絡網が作成されています。日々の業務連絡等において、危機管理意識の醸成が図られています。			☆				3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設のホームページを開設するとともに、紙媒体による施設だよりを発行し、広く情報提供が行われています。			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上	利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用目的やレベルに応じた専用レーンを設定するとともに、プール用品の販売や女子更衣室前へのパーテーション設置、洗面所へのドライヤー設置など、サービス向上に努めています。			☆			4	
		改善運動	アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	施設利用者へのアンケートを実施され、利用者の意見・要望を聞き、より良い施設の管理運営及びサービスの提供に努められています。			☆				3
経営状況	収支等実績	収入確保	収入増加のための取組がなされたか。	サービス向上や自主事業等の展開により利用者の確保に努められています。自主事業収益についても、前年度から増額となっています。			☆			4	
		収支計画との整合性	収支状況は当初収支計画と整合しているか。	水道光熱費等の高騰の影響に伴い、当初収支と差異がある科目がありますが適正に執行されています。			☆				3
		安定経営	安定的な経営が行われたか。	様々な経費が高騰となっている中でも、概ね安定的な経営が行われています。			☆				3
		経理状況	月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されています。			☆				3
評点合計							標準数	57	加算	3	60
審査結果	新型コロナウイルス感染症及び改修工事の影響により減少した利用者が戻りつつある中で、民間事業者のノウハウを活かし、安心・安全を第一とした施設運営、利用者数の増加及び収入確保に取り組まれました。						年度評価		A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		—		
		S	S	A	A						
総評		—									

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：やまぐちサッカー交流広場

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		指定管理者制度(平成23年度導入)を活用して、利用者サービスの向上、スポーツを通じた中山間地域の活性化に努めました。 ・指定管理者 特定非営利活動法人八坂地区むらづくり協議会 指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。中山間地域の交流人口が拡大し、中山間地域の活性化が図られています。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	スポーツ施設の利用環境の充実	
事業開始背景等		中山間地域の交流人口の拡大を目的に、旧八坂中学校(廃校)を活用し、平成22年5月に設置しました。また、平成28年4月に旧引谷小学校(廃校)を活用し、引谷体育館を加えました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		中山間地域にあるサッカー施設として、多くの方に大会や練習で利用されており、中山間地域の交流人口拡大や地域活性化につながっています。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なることから再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>「個人情報保護に係る対策」について不十分な点がありましたが、それ以外の面においては、施設の維持管理は適正に行われています。中山間地域の活性化を担う施設として、ニーズや地域に密着した自主事業を実施されるなど、地域おこしのけん引役となっています。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: やまぐちサッカー交流広場

指定管理者: 特定非営利活動法人 八坂地区むらづくり協議会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協力が適切に行われていたか。			☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。		☆				2	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準数	57	加算	0	57		
審査結果	「個人情報保護に係る対策」に不十分な点がありましたが、その他の面においては、概ね良好に施設管理が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者が戻りつつある中で、指定管理者のこれまでの経験を活かし、安心・安全を第一とした施設運営とともに、利用者サービスの向上に取り組まれました。		年度評価					B	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	概ね良好	
総評		A	A	A	A	B			
総評		令和5年度は一部協定内容の不履行となったため「B」の年度評価となりましたが、それ以外の年度については、施設の管理運営は適正に実施され、年度ごとの評価についても「A」以上となっています。指定管理期間を通じ、基本協定に定められた内容を概ね適切に実施され、特に「利用者サービスの向上」に努められていることは評価できます。以上の点を踏まえ、総合評価を概ね良好としました。					総合評価		概ね良好

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 山口市菜香亭

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
山口市菜香亭		指定管理者制度のもと民間のノウハウを取り入れた運営により、来館者の快適な利用空間・環境の確保に努めました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
来館者が安全・快適に利用できる施設として、適切な管理運営が行われています。			
総合計画体系	政策	02 教育・文化・スポーツ	
	施策	03 文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	04 文化・芸術・歴史を生かした本市の個性の創造と発信	
事業開始背景等		明治10年(1877年)頃に創業された歴史ある料亭「菜香亭」は、平成8年(1996年)に閉じましたが、市民の保存運動により移築保存されることとなり、平成16年10月、市民の文化活動及びまちづくり活動の場あるいは観光における拠点施設として開館しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		開館当初から運営を担う指定管理者により、来館者へのガイダンスや、施設の点検及び修繕、清掃等が適切に実施されたとともに、安全管理上の問題等も発生していないことから、年間を通じて来館者が快適に利用できる空間・環境を確保することができたものと考えます。 また、令和5年度の入館者数については、令和4年度と比べ約4割増加しました。 利用者ニーズに即し運営体制を整えるなど、積極的に利用者サービスの向上に努めました。 今後も指定管理者のノウハウ等を活かし、施設の安定的な管理運営に努めます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし			
効率性	類似事業との再編成		観光資源を有する文化施設の管理運営であり、類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		地域文化の向上、地域の人材育成を図るとともに、本市の歴史・文化を保存し、交流の場として活用するためには、一定の予算確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
指定管理者職員による施設の魅力を分かりやすく周知するガイダンスは、来館者の満足度も高く、施設の大きな魅力となっています。 また、丁寧な施設清掃や歴史的建物の管理に求められる修繕箇所の細かな把握などについても適切に対応されています。 引き続き、来館者が快適・安全に利用できる施設運営、歴史文化資源を活用した企画展・イベントなど、魅力ある各種事業の実施に取り組んでいただきたいと思います。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市菜香亭

指定管理者: 特定非営利活動法人 歴史の町山口を甦らせる会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
		接客対応	・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。				☆		4
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	労働環境	・良質なサービス提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
		平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設設置目的の達成に向けた効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		60	加算	4	64	
審査結果	地域文化の向上及び地域を担う人材育成を図るとともに、本市の貴重な歴史・文化資源を次代に向けて保存し、幅広い交流の場として活用するという施設の設置目的に沿った運営が行われている。 また、大広間の扇絵や施設の歴史等の丁寧なガイダンス、時節を捉えたテーマによる企画展の実施等が行われているほか、コロナの回復基調受け、団体客のニーズにも対応できるよう自主事業の運営体制を整えるなど、積極的に利用者の満足度向上に繋がっている取組を実施している。 以上のことから、令和5年度の当該施設の運営については、施設の設置目的に沿い、状況の変化に対応し、安定し適切に実施されていると認められるため、年度評価を「A」とする。		年度評価		A				
総評			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
			A	A	A	A			

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：クリエイティブ・スペース赤れんが

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民		指定管理者制度を活用し、C・S赤れんがにおいて、文化芸術に参加しやすい環境を創出します。市民文化活動の促進や、地域資源を生かした文化振興が期待できる企画事業(受託事業)を実施しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		<指定管理者> 特定非営利活動法人こどもステーション山口 <委託期間> 令和2年度から5年間 <受託事業内容> 市民に質の高い芸術文化鑑賞の機会を下記のとおり提供。	
文化芸術に触れる機会が増えます。 文化活動に参加する機会が増えます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	身近で多彩な文化・芸術活動のための環境づくり	
事業開始背景等		C・S赤れんがは、県立図書館増設書庫であった建物であり、市民運動により本市での保存活用が決まった経緯を持っています。個性的な外観とコンパクトなスペースを持つ当該施設を活用し、市民に質の高い芸術文化を鑑賞する機会を提供するため、本事業を実施します。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		開館30周年記念事業を実施した令和4年度と比較して受託事業参加者数が減少しておりますが、施設の特性を生かし、市民に質の高い芸術文化鑑賞の機会を提供しました。また、令和5年3月より開始したSNSにてC・S赤れんがの様子やイベント等のお知らせをすることでHPのアクセス数及びフォローワー数が増加し、C・S赤れんがの認知度向上につながりました。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		C・S赤れんがが特有のコンパクトなスペースを活かした企画事業であり、類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		施設を活用し芸術文化の振興及び発展を図るための事業を展開するために、一定の予算確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
市民文化活動の促進や、地域資源を生かした文化振興が期待できる企画事業を実施するなど、質の高い芸術文化の提供に寄与しています。令和5年度においては、施設利用者に向けたアンケートの実施及び反映、ピアノ等の練習目的として利用ができる旨を記載したチラシの作成など、施設利用者に寄り添った運営を実施しています。。さらに令和5年3月から開始したFacebook、X(エックス)、Instagram等のSNSの活用により、積極的にイベント等の周知に取り組んでおり、今後の利用者数の向上に期待ができます。			

事務事業評価報告書

施設名: 山口市市民会館

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民 来館者		来館者への対応や施設の適切な管理を行い、来館者の快適な利用空間・環境の確保に努めました。 指定管理者制度を活用し、質の高い文化芸術鑑賞機会づくりに取り組みました。 また、市内で文化活動をしている市民や団体が、日頃の活動成果を発表する場を提供するとともに、参加機会の充実を図る事業を開催しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
来館者が安全・快適に利用できる施設となります。 質の高い文化芸術に触れる機会が増えます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	芸術鑑賞機会の拡充と文化を担う人材育成	
事業開始背景等	市民の文化の向上と福祉の増進を図るため、昭和46年8月に設置した当該施設の管理運営を目的として本事業を実施します。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	指定管理者により、来館者が安全で快適に利用できる環境が確保でき、提供されています。 企画事業の実施においては、前年度と比較して、受託事業参加者数が大きく向上しており、市民の関心の高い公演を開催できたことによるものと考えます。引き続き、市民に質の高い文化芸術に触れる機会を提供することで、さらなる成果の向上に努めます。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	同規模の施設としてKDDI維新ホールがありますが、市民の文化の向上及び福祉の増進を目的としており、設置目的が異なるため、再編できません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	施設を適切に維持するためには、一定の予算確保が必要です。	
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
市民のニーズを把握しながら、受託事業・自主事業を展開し、市民の文化の向上及び福祉の増進を図っています。 また、施設の老朽化が進んでいるため、保守点検に加え、職員による巡回点検を実施するなど、機器の設置業者やメンテナンス業者との連携を図りながら、不良箇所等の早期発見や施設利用者の意見を反映した施設整備に努めています。 今後も、「市民に鑑賞機会を提供する事業」と「市民の参加機会の充実を図る事業」のバランスの良い事業展開による施設運営を期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市市民会館

指定管理者: 公益財団法人山口市文化振興財団

指定期間: 令和4年度～令和8年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履 行多 数 (1点)	一部不 履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に 優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の設置目的に沿った貸館の利用許可がされており、適切な運営がされている。初めて施設を利用する利用者に細やかな説明を行うなど、利用者目線に立った対応をしている。					☆	3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目、頻度を遵守した形での清掃、保守点検に加え、職員による定期点検のチェックシートを用意し、定期的に巡回点検による不良箇所等の早期発見に努めている。修繕についても適切に対応している。					☆	3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	委託先業者とは、委託業務における課題などの共有に努め、信頼関係を築いて連携をはかり、作業時の確認等適正に監督が行われている。					☆	3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	利用状況に即した人員配置がされている。また、全国公立文化施設協会主催の講座をリモートで受講するなど、職員の資質向上に努めている。					☆	3	
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	周辺地域へのポスター掲示を依頼するだけでなく、市民会館での催し物情報を積極的に提供することにより地域の商店の活性化につながるなど、地域との連携が生み出されている。					☆	4	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者に対する丁寧な説明が心がけられており、苦情に対しても早急に対応するなど、適切な対応が行われている。苦情の内容を職員間で共有し、次に生かすよう努めている。					☆	3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	貸館内容や事業規模を考慮したローテーション勤務により、適正な人員配置や勤務体制がとられている。					☆	3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	職員が施設の設置目的を理解したうえで、判断に迷う案件については設置者に相談し内規を整理するなど、設置目的に即した施設の利用促進に努めている。また、自主事業の実施が必要以上に他の貸館利用を圧迫しないよう意識し努めている。					☆	3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報保護に関する法律及び個人情報取扱特記事項に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適正な管理に努めている。チケット購入者の個人情報など適切に廃棄が行われている。					☆	3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	職員による定期的な見回りの実施により、老朽化にともなう不良箇所の早期発見に努め、速やかに対策を講じることで、適切な安全対策が取られている。貸館利用者にも、非常口に物を置かないよう指示するなど安全管理について啓発に努めている。					☆	3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	定期点検による動作確認や救急救命講習、年2回の避難訓練の実施、また緊急連絡網や消火体制マニュアルを作成している。機械警備と人的警備を導入しており、施設内だけでなく中庭や施設周辺についても防犯、防災対策が取られている。					☆	3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	大学生を起用した市内店舗へのポスター・チラシの配布や多くの市民に情報が行き渡るよう、利用拡大のための周知活動を行っている。会館のデジタルサイネージで動画による広告やSNSを活用し、ポスターだけでは伝わらない魅力を届けるなど、幅広い層への情報提供に努めている。					☆	3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	温かな接遇を心がけ、利用者目線に立った館内施設への目配りを行い、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めている。					☆	3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	3つ公演でチケット完売となるなど、市民の関心の高い自主事業が実施されており、市民に質の高い文化芸術に触れる機会の提供がなされている。また、市民が主体となる参加型の事業についても実施されている。					☆	4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	貸館事業との区別も意識しながら、施設の設置目的を踏まえた質の高い芸術文化を鑑賞する事業と市民参加の事業を実施している。					☆	3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	利用者・主催者からアンケートを実施し、ニーズを把握した上で事業企画や施設管理運営に反映させるなど、可能な範囲で利用者サービスの向上に努めている。					☆	3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	入場者確保のため、市内店舗へのポスター・チラシの配布やSNSの活用など、積極的な広報を実施することで、主催者にも魅力的な会場となるよう努めている。また、各種助成金も積極的に申請を行い、3件の助成金を確保するなど、自主財源確保に努めている。					☆	4
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	予算の範囲内で、適正に予算を執行している。収入面では助成金の獲得により当初見込みより収入が増加している。また、支出の面では、光熱水費の削減などに取り組んでいる。					☆	3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	適正な人員確保が図られ、計画的な施設管理及び事業運営が行われるとともに、突発的な修繕にも対応しており、安定的な経営が行われている。					☆	3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	適宜状況を報告している。					☆	3
評点合計			標準	60	加算	3	63			
審査結果	施設の老朽化や利用者の安全確保に対応した対策が適切に講じられている。また、大学生を起用したポスター等の配布やデジタルサイネージ・SNSの活用など効果的かつ効果的な広報について積極的な取組がされている。さらに、ポスター掲示など協力いただくだけでなく、市民会館での催し物情報を積極的に提供することにより、イベント開催時の地域の商店の活性化につながるなど、地域の連携や賑わいの創出につながっている。 貸館事業との区別も意識しながら、いかに市民に質の高い文化芸術の鑑賞機会を市民に提供するかの観点で、受託事業、自主事業の事業企画を検討されており、施設の設置目的に沿った事業実施がされている。 今後も安全性確保のための一層細やかな施設の維持管理と、市民の身近な鑑賞機会や創作活動の場としての充実を図り、市民の多彩な文化芸術活動が促進されることを期待する。					年度評価	A			
総評	【各年度の評価】					総合評価				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目					
	A	A	-	-	-					

事務事業評価報告書

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

施設名: 山口情報芸術センター

対象(誰、何に対して事業を行うのか) 市民 来館者		手段(事務事業の内容、やり方、手順) 指定管理者制度の導入により民間のノウハウを取り入れ、来館者への対応や施設の適切な管理を行い、来館者の快適な利用空間・環境の確保に努めました。 YCAMの目的である「本市の個性となる新しい文化の創造と発信」を行うと共に、これまで蓄積した技術・知見・ネットワークを生かして、アートの視点から新たな交流・連携・協業によるプラットフォームづくりを進め、新たな価値の創造に取り組みました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 事業に参加・参画する市民・団体が増え、文化に対する意識が高まります。また、施設を誇りに思う市民が増えるとともに来場者が増えます。 先端的なアートの創造発信と共に地域資源を開発・新たな価値を加え発信することで交流人口が増加します。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	文化・芸術・歴史を生かした本市個性の創造と発信	
事業開始背景等	平成15年11月に開館した山口情報芸術センターの一体的な管理運営、事業運営のため山口市文化振興財団へ委託しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	有効性 成果状況 <input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されるとともに、開館20周年記念事業の開催により、国内外から注目度がさらに高まったことから、来館者数は前年度と比較して増加しました。指定管理者により、来館者が安全で快適に利用できる環境が確保でき、提供されています。 YCAMが培ってきた技術や知見、ネットワークを活用し、国内外のアーティストと共同したオリジナル作品の制作・発表や、YCAM独自の教育プログラムの開発、地域資源や歴史に焦点を当てた企画事業を展開する等、新しい芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、施設の特性を生かした本市の個性の創造と発信に貢献しています。	
効率性	類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし	情報芸術文化を創造・発信する施設の管理運営にかかる事業であるため、類似の事業はありません。	
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	最新の機器等を備える大規模な施設の管理運営費であるため、本施設の機能を維持するためには、一定の予算確保が必要です。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の实情や事業内容に合わせた適切な安全確保や来館者への対応が図られています。 また、自主財源の拡充や職員の資質向上など、安定的な経営、経営改善に努められるとともに、幅広い層の利用者のサービス向上に取り組まれています。 引き続き、安全確保に努めながら、YCAMの設置目的に沿った魅力ある企画事業を実施することで、利用者の拡大、満足度向上の取組を進められることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口情報芸術センター

指定管理者: 公益財団法人山口市文化振興財団

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履 行多 数 (1点)	一部 不履 行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に 優秀 (5点)		
施設 の 適 正 な 管 理 運 営 の 確 保	運営業務	施設の設置目的に沿った貸館の利用許可が行われており、判断の難しい案件については、行政担当者に相談・協議する等基本的な施設管理が行われている。チケット発売日には対応人員を増加してスムーズに対応できるような体制を整えている。また、修繕についても来館者の安全性の確保とともに、設備の突発的な故障等に対する緊急対応として設置業者並びにメンテナンス業者との連携も図られており、十分な対応が行われている。			☆		3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目、頻度を遵守した形での清掃、保守点検が行われており、備品についても、適正な管理が行われている。			☆	3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	適宜立会や連絡を行い、報告書の提出を求めるなど適正な監督が行われている。			☆	3	
	人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模、利用状況に即した人員配置が行われている。また、年2回の消防・避難訓練に加え、適時題材を選定し、職員のスキル向上のための研修会や説明会等が行われている。			☆	3	
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	令和5年度は、地域の歴史を題材に地域住民へのリサーチに基づいた作品の制作や、中心商店街と連携した賑わい創出の取組を実施したほか、教育委員会と連携したICT教育プログラムの実施、学校・教諭を対象とする施設見学プログラムなどにより、地域や関係団体等との連携や協働が図られた。			☆	4	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	図書館とも連携の上、事故、苦情は組織及び行政担当者へ報告するようルール化されており、状況によっては行政と協議検討するなど、適切な対応が取られている。また、対応について状況に応じて報告書に記載し職員間での共通認識が図られるよう努めている。			☆	3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	利用状況に応じた人員配置を行い、休暇の利用促進、健康診断の実施などで労働者の体調管理に注意している。			☆	3	
	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	職員が施設の設置目的を理解したうえで、判断に迷う案件については行政担当者へ相談・協議するなど、設置目的に即した施設の利用促進に努めるとともに、HPやパンフレットにて設置目的及び利用条件の周知を図ることで、市民の平等利用に関する姿勢は保たれている。			☆	3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護に関する法律及び個人情報等取扱特記事項に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適正な管理に努めている。			☆	3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	消防訓練や点検等を通じて、日頃から避難経路の確保に努めている。担当職員が館内及び敷地内を確認し、異常があれば小さなものでも対応を行い、また必要に応じて行政担当者への報告も迅速に対応するなど、利用者の安全確保を最優先に取り組まれている。展示作品の監視にあたるサポートスタッフへも研修を行い、利用者の安全対策について共有している。			☆	3	
危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	監視カメラを必要に応じて設置しているほか、民間警備会社と連携して防犯・防災対策を実施している。開館前には、担当職員が館内及び敷地内を確認し、異常があれば小さなものでも迅速に対応するとともに、行政担当者への報告を行っており、適切な安全対策が取られている。また、消防訓練を実施するとともに、緊急時の組織内の緊急連絡網を備え、危機管理体制を整えている。			☆	3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大 周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設パンフレットの配布やウェブサイトの活用により、施設や企画事業のPR及び情報提供を行なっている。広報に当たっては、対象者に合わせた広報媒体(チラシ、市報、Web等)と内容を意識した情報提供が行われているとともに、SNSを積極的に活用し、随時、企画のPRも行っている。any会員についても積極的にキャンペーンに取り組みなど広報に努め、会員数の拡大につながっている。			☆	3	
	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者から意見等があった場合は、協議検討の上、対応について職員間で共通認識を図り実施する等、サービス向上に努めている。また、YCAMシネマや企画事業において誰かの有無にかかわらず楽しめる企画を実施するなど、幅広く文化に触れる機会を提供するよう努めている。			☆	4	
	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	巡回展示をはじめとした対外的事業によりYCAMのブランド力向上に資する取組を行っている。			☆	3	
	受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	施設の設置目的を踏まえ、制作機能を生かした質の高いオリジナル作品を創造し、優れた芸術文化作品に触れる機会の提供や教育普及や事業など、感性と創造性を育むための取組が実施されている。また、開館20周年記念事業を通じて、広く市民や国内外にYCAMの創造する価値を波及させ、本市のブランド力向上に寄与した。			☆	4	
	改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	企画事業において、来場者アンケートを実施し、来場者の傾向などの把握に努めている。また、HPや事務所へ寄せられた意見等については、内容を確認のうえ、実施可能なものについては、迅速に対応し、利用者の利便性の向上に努めている。施設管理の面においても、市と連携して利用者意見の反映に努めている。			☆	3	
経営状況	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	アート作品の鑑賞は無料としており、貸館主体ではないため、貸館収入の増加はあまり見込めないが、事業実施における各種助成金や補助金の確保に努めている。最新の作品展示などをYCAMで初演するとういう付加価値を付けることにより、県外も含め来場者の増加・収入増加のための取組がなされている。また、幅広い世代が楽しめるよう、多様なラインナップのシネマ作品を上映しており、令和5年度は過去最高の観客を動員した。本市の文化振興に寄与しつつ、同時に収入増加に向けた取組がなされた。			☆	4	
	収支等実績	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	予算の範囲内で適正に予算を執行している。			☆	3	
	安定経営	・安定的な経営が行われたか。	市からの補助金のほかにも、国や民間からの助成金、チケット収入の確保など収入増加に努めるとともに、計画的な施設管理、適正な人員体制を図るなど、安定的な経営が行われている。			☆	3	
	経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	入館者利用者報告及び経理事務は、適正に処理されている。			☆	3	
	評点合計			標準	60	加算	4	64
審査結果	次代を担う人材の育成と新たな山口市の文化の創造につながる事業や教育・学習支援活動を展開するという施設の設置目的に沿って、良好な管理運営が行われている。また、維持管理・保守点検をはじめ、施設管理については、職員及び専門家への委託により適正に行われている。アート事業、地域開発事業、シネマ事業などYCAMの活動への理解を深める事業が展開されているなか、開館20周年記念事業の実施により、市民や国内外へYCAMの創造する価値を発信したことにより、施設への関心が高まり、本市のブランド力向上に寄与した。Afternet 山口市の映画館の歴史においては、市民へのリサーチに基づいた作品制作により、新たなファン層の獲得に寄与した。また昨年度に引き続き、教育委員会と連携したICT教育プログラムの実施や中心市街地と連携した賑わい創出の取組など、YCAMの活動成果を地域に波及させる具体的な取組実績も積み重ねている。こうした取組を通じて、地域や関係団体との交流が一層促進されるとともに、YCAMが国内外の人的資源と地域資源をつなぐプラットフォームとしての役割を担っていることは高く評価できる。				年度評価	A		
【各年度の評価】		1年目 A	2年目 A	3年目 A	4年目 A	5年目 A		
総評	市民一人一人の豊かな感性と知性を育む情懷と文化・芸術の交流拠点として、次代を担う人材の育成と新たな山口市の文化の創造につながる事業や教育・学習支援活動を展開するという施設の設置目的に沿って良好な施設管理及び事業運営が行われた。指定期間内に新型コロナウイルス感染症による休館や客数制限を余儀なくされたが、オンラインの積極的な活用により、各事業を実施されたことは高く評価できる。また、教育委員会と連携したICT教育プログラムの実施や中心市街地と連携した賑わい創出の取組など、YCAMの活動成果を地域に波及させる取組を継続して実施しており、国内外の人的資源と地域資源をつなぐプラットフォームとしての役割を果たしている。加えて、令和5年度は開館20周年事業として、YCAMの培ってきた技術・知見・ネットワークを生かしたオリジナル作品の制作・上演や地域の歴史を巡る展覧会等を実施し、さらなる価値の創造・発信を行ったことにより、多くの報道に取り上げられる等、市民や国内外からのYCAMへの関心が高まり、本市のブランド力向上に寄与した。これらを通じて、施設の設置目的に沿った事業運営が適切に行われていることは、高く評価できる。						総合評価	良好

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 中原中也記念館

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民 来館者 中原中也研究者、文学関係者 中原中也に関心がある人		指定管理者制度を導入し、条例に定める事業を実施しました。 ・資料の収集、保存及び展示 ・資料の利用に関する説明、指導及び助言 ・資料に関する調査及び研究 ・記念館の利用促進(教育普及事業、広報事業等)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		【指定管理者】(公財)山口市文化振興財団 【委託期間】令和元年度から5年間	
中原中也を通じて、山口を訪れる人が増えます。 中原中也の研究が進み、中也の魅力を知る人が増えます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	文化・芸術・歴史を生かした本市個性の創造と発信	
事業開始背景等	中原中也に関する資料の収集、保存、展示等を行い、広く市民の教養を高め、文化の向上に資するとともに、地域振興に寄与するため、平成6年2月18日に設置された中原中也記念館の設置目的を果たすため、管理運営・企画運営・資料収集の3つの事務事業を再編・統合し、事業成果や予算執行の効率性の向上を図りました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調であるとともに、令和6年2月に中原中也記念館開館30周年を迎えたことから、入館者数が増加しました。引き続き、中原中也と中也の詩による展覧会や様々な企画展を通じて、本市の魅力や個性の創造、発信に貢献しています。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		中原中也記念館は中也研究及び中也の情報発信の取組をしており、類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		中原中也を通じて本市の魅力創造・発信するためには一定の予算の確保が必要です。
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
細やかな修繕箇所の把握や対応に努めるなど、来館者が施設を安全・快適に利用できる空間の確保がなされています。 また、引き続きオンラインやSNSの積極的な活用等により、中原中也及び中原中也記念館のファンを増やすための幅広い世代に向けた取組が実施されています。公募型のイベントや狐の足あとの連携等に努めることで、入館者数やグッズ売り上げについて復調しており、開館30周年記念事業が数多く実施される令和6年度においては更なる向上を期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 中原中也記念館

指定管理者: 公益財団法人山口市文化振興財団

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	週休日・祝日における学生アルバイトを含め、受付マニュアルの徹底による適正な事務処理が行われている。週一回開催する全体会議において情報共有し、疑問が生じた場合は館内での協議とあわせて市担当者と連絡相談し、適正な運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
		平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			4
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			4
	利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			4
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		60	加算	5	65	
審査結果	維持管理・保守点検をはじめ、施設の管理運営については、職員及び専門業者への委託により適正に行われている。また、中世に関わりのある資料の収集・保存・研究を積極的に進め、中世研究の活動拠点となり、魅力的な常設展示や企画展を実施するなど、中世に光をあて、広く全国に発信する取組が行われている。 令和5年度は開館30周年のグッズ販売に向けて実施したTシャツデザインコンテストは全国から多くの応募が寄せられた。この影響もあり、今年度のグッズ売上収入は当初予算額に対して、決算額が大きく上回る結果となったことは、魅力的な事業実施とともに収入確保も行われており、評価できる。また、開館30周年記念をきっかけとした公募型のイベントを開催するなど、全国に向けたアピールも行われており、入館者数の増加につながっている。 展示はもちろん中世の中世の詩の魅力を生かしたイベントを企画し、オンラインやSNSの積極的な活用などに取組み、幅広い世代に中世の中世を知ってもらえるよう事業展開を行ったと評価できる。	年度評価					A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
		A	A	A	A	A			
総評	指定期間を通して維持管理・保守点検をはじめ、施設の管理運営について適正に行われている。中世に関わりのある資料の収集・保存・研究を積極的に進め、中世研究の活動拠点となっている。 令和元年度から新型コロナウイルス感染症により、入館者数の減少や特別企画展の延期を余儀なくされる等の影響があったが、オンラインを活用した企画に積極的に取組み、新たなファン獲得に向けた事業展開を行ったことは評価できる。また、令和5年度においては、開館30周年記念事業として実施されたTシャツデザインコンテストは全国から応募が多数寄せられ、グッズ売上収入が増加したことは、収入確保の面からも高く評価できる。さらに、魅力的な常設展示や企画展のほか、多角的な視点から中世を紹介する特別企画展や講演を実施するなど、中世の中世の詩の魅力を生かした取組が行われている。これらは、文化の向上や地域の振興に寄与するものであり、評価できることから総合評価は良好と評する。	総合評価						良好	

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名： 嘉村礪多生家

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
①市民その他利用者 ②仁保地区		指定管理者制度を活用し、嘉村礪多生家「帰郷庵」において、嘉村礪多を顕彰するとともに、その作品の舞台となった生家周辺地域における文化的価値を地域資源として生かし、都市と農村の交流促進を通じて地域の活性化を図るための事業を実施しました。 【事業内容】 ・市外在住者への情報発信 ・地域活性化に寄与する都市と農村交流イベント等の実施 ・地元住民等による地域活動の実施 【指定管理者】 嘉村礪多生家の会 【委託期間】 令和4年度から5年間	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
①嘉村礪多生家という地域資源を生かし、地域の活性化を図ります。 ②嘉村礪多生家を拠点とした地域間交流が活発化します。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	文化・芸術・歴史を生かした本市個性の創造と発信	
事業開始背景等	「私小説の極北」と称された小説家「嘉村礪多」の生家が、築後約140年を経過した現在も仁保上郷地区に現存しています。この地域資源を高齢化、過疎化の進む農山村地域の地域コミュニティの形成や地域活性化のため、活用することが求められています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		地元の仁保地区を母体とした指定管理者が施設の運営管理を実施しています。令和5年度は体験事業参加者数及び市外からの体験事業参加者数はともに前年度実績より増加しました。古民家生活体験は市外からの利用も多く、本市への誘客に貢献しています。今後においても施設の魅力を発信することで、利用者の増加につなげていきます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		築後140年以上を経た古民家を仁保地区の活性化に資する施設として活用するものであり、当該地域に現存する同様の建物は他にないため類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		施設を活用し嘉村礪多を顕彰するとともに、都市と農村の交流促進を通じて地域の活性化を図るために、一定の予算の確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
来館者には、それぞれのニーズにあった、満足度の高い体験メニューが実施されており、評価も高いです。また、施設の維持管理も問題なく実施されています。独自の工夫により野外活動メニューの充実を図るなど、利用者サービスや施設の魅力の向上が図られており、引き続き、来館者の満足度の向上や安全等に配慮した取組を進められることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 嘉村礪多生家

指定管理者: 嘉村礪多生家の会

指定期間: 平成4年度～令和8年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	施設の設置目的に沿った貸し館の利用許可が行われるなど、基本的な施設管理が十分行われており、また、修繕についても来館者の安全性の確保とともに、施設の雰囲気や壊れないよう配慮した形での対応が行われている。			☆			3
	維持管理業務	清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目、頻度を遵守した形での清掃、保守点検が為されている。また、備品については、台帳を備え、適正な管理がなされている。			☆			3
	再委託監督	再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託は水質検査や機械警備など専門性の高いものに限られており、適正な監督がなされている。			☆			3
	人員配置職員研修	適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設管理人及び事務局等について、業務に応じた適正な人員配置を図られている。令和5年度中には、管理人が1名退職したが、迅速に新たな管理人を確保している。新たな管理人に対しては、来館者に嘉村礪多や嘉村礪多生家に関する説明ができるよう研修を実施するなど、礪多の顕彰につながるよう職員の育成に取り組まれている。				☆		4
	地域連携	地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	指定管理者の母体である保自治会を中心に関係団体等との十分な連携や協働のもと、施設管理や企画事業の実施が行われている。			☆			3
	接客対応	苦情に対する対応は適切であったか。 接客対応は適切であったか。 利用者に対する案内、説明は適切であったか。	組織内及び行政担当者との緊急連絡網を備えるとともに、苦情があった場合には、目録に掲載し、組織内で情報を共有できるよう対応がルール化されている。			☆			3
	労働環境	良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	人員配置を考慮したローテーション勤務により、適正な勤務体制がとられている。毎月第一水曜日に事務局と施設管理人による定例会議を開催し、施設管理に係る情報や課題を共有し、検討できる体制が整えられている。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的及び施設利用について職員が共通認識を持つとともに、パンフレットやHP、SNSにて広く一般に周知を図ることで、市民の平等利用に関する姿勢は適切に保たれている。			☆			3
	個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護に関する法律及び個人情報等取扱特記事項に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適正な管理に努めている。			☆			3
	安全対策	日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	日中は施設管理人が常駐するとともに、古民家生活体験利用がある場合において利用者は、緊急時には施設周辺に在住する管理人に連絡が取れるような体制となっており、適切な安全対策が取られている。			☆			3
	危機管理	防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	火災報知器・緊急通報システムを設置しており、緊急時の組織内及び行政担当者との緊急連絡網を備え、危機管理体制を整えている。AED研修を含めた救急救命訓練を施設管理人も参加の上、定期的実施している。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	施設パンフレットの配布やHP・SNSを使ったPRのほか、令和2年度にモンベルフレンドショップに登録したことによる多様な利用者への魅力の発信に取り組むなど、積極的な情報発信を行っており、効果的なPRが行われている。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上	アンケートにより利用者のニーズ・意見の把握を図るほか、独自の工夫により野外活動メニューの充実を図るなど、利用者サービスや施設の魅力の向上が図られている。				☆		4
		自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	利用者ニーズを把握した上で、施設及び周辺の自然環境を生かした自主事業が実施されている。			☆		3
		受託事業	受託事業は適切に実施されたか。	施設の設置目的を踏まえた嘉村礪多の顕彰事業や都市と農村の交流事業が実施されている。			☆		3
	改善運動	アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	自主事業参加者にアンケートを実施し、利用者ニーズを把握した上で、可能なものについて事業実施に反映するよう努めている。			☆		3	
経営状況	収支等実績	収入確保	収入増加のための取組がなされたか。	施設利用の積極的なPRを行い、利用の促進に努めている。			☆		3
		収支計画との整合性	収支状況は当初収支計画と整合しているか。	おおむね当初計画と整合している。			☆		3
		安定経営	安定的な経営が行われたか。	計画的な施設管理及び事業運営が為され、また適正な人員確保も図られており、安定した経営が行われている。自主事業に係る利用料金の見直しを行い、経営面においても安定経営に努めている。			☆		3
		経理状況	月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	入館者利用者報告及び経理事務は、適正に処理されている。			☆		3
評点合計				標準	60	加算	3	63	
審査結果	嘉村礪多の顕彰とともに、礪多生家及びその周辺を地域資源として生かし、都市と農村の交流促進を通じて地域の活性化を図るといった、施設の設置目的に沿ったサービス・事業が指定管理者を中心に、地域の関係団体との協働のもとに実施されている。嘉村礪多生家は、平成23年度から指定管理者制度を導入して以降、多くの方にご利用いただき、リピーターの方も増えていることは、地域と一体となった指定管理者の良好な管理運営によるものであると高く評価できる。また、SNSを活用し、市内外を問わず多くの方へ訴求力のある広報を展開されている点について評価できる。安定的な組織体制の確保が課題であったが、令和5年度には施設管理人を迅速に確保し、礪多の顕彰につながるよう育成にも努められている。今後とも施設の設置目的のさらなる実現に向け、施設及び周辺の環境を生かした企画事業の実施や、市内のこれまで活用したことのない新たな利用者の増加につながるような一層効果的な施設PRを期待する。		年度評価	A					
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
総評		A	A						

事務事業評価報告書

施設名: 十朋亭維新館

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
十朋亭維新館		・指定管理者制度のもと民間のノウハウを取り入れた運営により、来館者に満足度の高いガイダンスを提供するとともに、快適な利用空間・環境の確保に取り組みました。 指定管理者: 大路小路まち・ひとづくりネットワーク	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
来館者が安全・快適に利用できる施設として、適切な管理運営が行われています。			
総合計画体系	政策	02 教育・文化・スポーツ	
	施策	03 文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	04 文化・芸術・歴史を生かした本市の個性の創造と発信	
事業開始背景等		市指定史跡十朋亭は平成15年度、杉私塾やその他の土地・建物、関連資料と共に寄附されました。平成26年度には萬代家主屋を含む周辺土地・建物が寄附されました。その後、平成27年度に施設等整備に着手し、平成30年3月に竣工。同年9月29日(土)に、山口市の幕末維新について学べる施設、大内文化特定地域の新たな回遊スポットとしてオープンしました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		令和3年度から指定管理者制度を採用し、効率的な民間手法の導入を図りました。来館者へのガイダンスや、施設の点検及び修繕、清掃等が適切に実施されたとともに、安全管理上の問題点も発生していないことから、年間を通じて来館者が快適に利用できる空間・環境を確保することができたものと考えます。今後も、指定管理者のノウハウ等を活かし、施設の安定的な管理運営に努めます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		歴史的観光資源を有する文化施設の管理運営事業であるため、他事業との再編はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		地域文化の向上、地域の人材育成を図るとともに、本市の歴史文化資源を保存し交流の場として活用するためには、一定の予算確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
指定管理者による企画展示の実施やガイダンス、施設を活用したイベント等は、施設の魅力をわかりやすく来館者にPRするものであり、施設の大きな魅力となっています。 また、丁寧な施設清掃や歴史的建物の管理に求められる修繕箇所の細かな把握などについても適切に対応されています。 引き続き、来館者が快適・安全に利用できる施設運営、歴史文化資源を活用したイベントや企画展、自主事業等の実施に取り組んでいただきたいと思います。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 十朋亭維新館

指定管理者: 特定非営利活動法人 大路小路まち・ひとづくりネットワーク

指定期間: 令和3年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点			
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務	・受付事務、利用許可、鍵施設、修繕など適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4	
		接客対応	・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設設置目的の達成に向けた効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3	
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4	
	利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3	
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。				☆		4	
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。				☆		4	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3	
評点合計					標準	60	加算	4	64	
審査結果	本市の貴重な歴史・文化資源を次代に向けて保存し、幅広い交流の場として活用するという施設の設置目的に沿った運営が行われている。 また、史跡十朋亭や施設の魅力を分かりやすく周知するガイダンス、時節を捉えたテーマや幕末明治維新に関する所蔵品を活用した企画展の実施等が行われている。 令和5年度は、開館5周年記念事業として、市内の文化施設等と連携した事業を展開し、地域内周遊や交流促進に貢献する有効な事業が実施されている。				年度評価				A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A	A						
総評	史跡十朋亭をはじめとする施設の魅力を分かりやすく周知するガイダンス、時節を捉えたテーマや幕末明治維新に関する所蔵品を活用した企画展の実施等が行われているほか、本市の貴重な歴史・文化資源を次代に向けて保存し、幅広い交流の場として活用するという施設の設置目的に沿った管理運営がなされたことについて、評価できる。						総合評価			良好

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 国民宿舎秋穂荘

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
観光客 国民宿舎秋穂荘		指定管理者への管理運営委託を行いました。 (令和2年度～令和6年度)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設利用者の満足度が向上します。 施設利用者が増加します。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光ホスピタリティの充実	
事業開始背景等		昭和41年度に国民年金融資金を活用し建設し、平成12年度リニューアルしました。直営を経て、平成20年度からは株式会社あいおが指定管理者となり運営しています。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		宿泊客数は、新型コロナウイルス感染拡大前と比較し増加した一方、日帰り客数は、同水準まで回復していません。引き続き、海が一望できて景観がよいという特徴を生かしたPRや、近隣の圏域への営業活動などによる新規顧客の開拓、満足度向上への取組によるリピーター確保により成果向上が期待できます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし			
効率性	類似事業との再編成		特にありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		本事業は「山口市民間化推進実行計画」において民営化推進事業として位置づけており、民営化に関する検討や関係機関との調整を進めましたが、土地建物の一体売却に必要な土地登記の整理が困難な状況であり、また、地域振興の拠点としての役割を担う公の施設としての今後の事業実施が求められていますので、指定管理者制度における運営を継続していく方向です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
本事業は指定管理者制度における運営を継続していく方向です。 宿泊客数は新型コロナウイルス感染拡大前と比較し増加した一方、日帰り客数は同水準まで回復していないため、海が一望できる景観の良さを生かしたPRや、近隣の圏域への営業活動などによる新規顧客の開拓等により増加並びに収益力強化による経営状況の立て直しや施設老朽化に対する適正な対応を図り、安定的な経営を目指す必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 国民宿舎秋穂荘 指定管理者: 株式会社あいお

指定期間: 2年度～6年度

評価項目		評価コメント		評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、軽度の施設修繕や備品の更新も独自に実施した。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われている。また備品についても、台帳を整理し、適正な管理が行われている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	担当者が確認を行う等、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模に即した人員配置であり、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等安定した施設管理運営に向けた研修等の取り組みがされている。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	秋穂まつりの出店や南部特産品開発会議への出席などを行い、地域との連携や協働に努めている。				☆		4
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情等に対しては、迅速な対応がされており、社員全体で共有する仕組みとなっている。				☆		4
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	休暇や福利厚生について配慮されている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	適正な利用方法の周知、利用料金の徴収を行っている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護及び関係書類の適正な管理に努めている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	異常時の連絡体制や対応マニュアルの整備等に加え、問題箇所への迅速な把握、対応や感染症対策の実施など、適切に安全対策が取られている。				☆		4
危機管理		・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	昭和41年築の老朽化が進む中で、緊急時の組織内の緊急連絡網やマニュアルを備え、年2回の防災訓練を行い、災害用自販機やさすまも導入し不審者対策訓練を実施するなど、危機管理体制は適正に整備されている。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	公式サイト内での情報発信やOTA(じゃらんや楽天)を活用した情報発信に努めた。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取り組みがなされたか。	宴会場の特別プランの作成や情報誌やSNSへの情報発信に取り組んだ。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	バス迎いやコーヒーサービスを継続的に実施するとともに、Wi-Fi環境の提供を継続して実施している。				☆		4
経営状況	収支等実績	改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	アンケートを実施し、業務改善に活用している。			☆			3
		収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	料理メニューや宿泊料の改定を行い、収益の向上を図った。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	コロナ感染症による休館に赤字を計上したほか、宴会需要の激減やレストランの客数減少により収益力が低下している。				☆		3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	自己資金や借入による資金調達により安定的な経営に努めている。			☆			2
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理については、顧問税理士と相談しながら経営分析を行い、適正に管理された。			☆			3
評点合計				標準		57	加算	3	60	
審査結果	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されている。管理運営体制については、社員全体で運営について共通理解が図られている状況である。宿泊客数は新型コロナウイルス感染拡大前と比較し増加した一方、日帰り客数は同水準まで回復していないため、海が一望できる景観の良さを生かしたPRや、近隣の圏域への営業活動などによる新規顧客の開拓等により日帰り客数の回復を図ることで利用者数全体の増加並びに収益力強化による経営状況の立て直しを図り、安定的な経営を目指す必要がある。			年度評価			B			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
総評				B	B	B	B			

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 湯田温泉観光回遊拠点施設

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
湯田温泉観光回遊拠点施設		湯田温泉の回遊や街の賑わいの創出を目的として、湯田温泉観光回遊拠点施設の管理運営を行いました。 指定管理者への施設管理委託を行いました。 指定管理者: 特定非営利活動法人ゆだかつ 指定管理期間: R1～R5年度(H30年度指定)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
湯田温泉に回遊を促す拠点施設を整備したことにより、観光客や市民が街を巡るきっかけとなり、新たな賑わいが生まれています。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光ホスピタリティの充実	
事業開始背景等		観光客の旅行形態が、団体旅行から、少人数型旅行へ変化している中において、より観光客のニーズを捉えた施策展開が求められており、湯田温泉においても、街の魅力づくり、地域の魅力づくりに取り組む必要があります。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		入館者数は前年度比で微増であり、高水準を維持しています。 引き続き湯田温泉観光回遊拠点施設を中心とした回遊を促す事業を行うことで、観光地や休日を過ごす場としての湯田温泉のブランド力が高まり、成果向上が見込まれます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者制度を導入している施設であり、一定の予算確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
湯田温泉をはじめとした市内への回遊促進を目的とした施設であり、マスメディアや雑誌等に掲載されることも多く、市内観光客数増加に一定の効果があるといえます。 経営については昨年度に引き続きコロナ前(令和元年度)の水準の入館者を維持し、施設の設置目的に合わせた企画の実施などによる集客と収入確保とともに、維持管理経費の削減にも努めており、安定的な運営ができています。 今後も、2階多用途スペース等を活用した企画展の新たな展開に加え、常に新しい情報の収集及び発信に努めることで、さらなる回遊促進及び施設への来館促進に取り組んでいく必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 湯田温泉観光回遊拠点施設

指定管理者: 特定非営利活動法人ゆだかつ

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点			
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3		
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3		
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3		
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3		
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4		
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3		
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3		
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設HPや情報誌「ゆだより」の発行、宿泊施設用のチラシ作成、ツイッター、インスタグラムなどにより、施設のPR及び情報発信に努めている。また、マスメディアや雑誌等の撮影・取材、視察対応など積極的に受け入れている。			☆		4	
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆		4	
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		4	
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。			☆		3		
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆		3		
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆		4		
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3		
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆		3		
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3		
評点合計						標準	60	加算	5	65
審査結果	施設管理について、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されている。運営業務について、アンケート調査による意見の反映や職員研修も適時行われ、サービス向上への取組がなされている。また、季節に合わせたイベントやカフェメニューの更新、SNSなどさまざまな方法による情報発信や、関係団体・周辺施設との連携により、利用者への湯田温泉の魅力発信と回遊拠点としての役割を果たしている。指定管理制度導入通年8年目を迎え、経営のノウハウが生かされており、安定的な経営が行われています。					年度評価		A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		S	S	S	A	A				
総評	令和元年度より湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」の指定管理を行い、湯田温泉地域内の回遊イベント実施協力、中原中也記念館や十勝維新館等の近隣文化施設等との連携事業など、市内の多くの団体・法人と協力し、市民・観光客の湯田温泉地域を中心とした市内の交流・回遊の促進に貢献してきた。また、展示やイベント、カフェメニューの更新などの収入増加の取組が行われ、安定的な運営ができていた。今後も地域団体との連携・協力関係を維持発展させ、情報の発信を行い、湯田温泉と各地域の交流・回遊の促進に貢献していただきたい。					総合評価		良好		

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：新山口駅観光交流センター

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
観光交流センター		市内及び県内の観光情報の発信、交流人口の拡大を目的として、観光交流センターの管理運営を行いました。 指定管理者への施設管理委託を行いました。 (令和4年度～8年度)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
観光交流センターを管理運営することにより、観光客に効果的に観光情報を発信し、交流人口の拡大を図ります。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光ホスピタリティの充実	
事業開始背景等		市内及び県内の観光情報の発信、交流人口の拡大を目的として、新山口駅北口に開館しました。令和元年度から指定管理者制度を導入し管理しています。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		観光客の問合せや要望にきめ細やかに対応できる体制の維持、多彩な観光情報の一元的な提供を行うことで、満足度の向上、観光客数の増加に寄与します。 また、外国人観光客への観光案内ができる体制を維持することで、インバウンド観光誘客を促進します。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		本市の観光情報を発信するうえで、山口県及び山口市の陸の玄関口でもある新山口駅は、重要な拠点です。 また、民間事業者による観光情報の発信もありますが、公平公正な立場で情報提供する必要があります。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者制度を導入している施設であり、一定の予算確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設内にある観光案内所や交流活動ホール等の機能を活用した情報発信や多様な交流創出により、市域の活性化と広域観光の進展に一定の効果があるといえます。 また、魅力ある自主事業・受託事業の実施やHP、SNS等による情報発信により新たな利用者の獲得に向けた取組を行うことで、継続して施設に求められる役割を果たすことに努めています。 今後は、訪日外国人観光客の回復を見据え、山口県の陸の玄関口として多言語に対応できる体制の維持によりインバウンド誘客に取り組むと共に、施設に隣接するKDDI維新ホール利用者へのきめ細かな対応と、常に新しい情報の収集と発信に努め、引き続き市域の活性化と広域観光の進展に取り組んでいく必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 新山口駅観光交流センター

指定管理者: 一般財団法人山口観光コンベンション協会

指定期間: 令和4年度～令和8年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。				☆		4	
	地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協力が適切に行われていたか。			☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
危機管理		・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆		4	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。				☆		4
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		60	加算	5	65	
審査結果	管理運営については、外国語対応できるスタッフの複数配置や職員研修の実施などを通じ、適正な人員配置、職員の育成・指導が行われている。利用者サービス向上への取り組みについては、実際の利用者の声を積極的に取り入れ、充電スポットの設置や手ぶら観光サービスの実施など、利用者のニーズに沿ったサービスと観光情報の提供を行っている。またJNTO認定外国人案内所のカテゴリ3の認定を維持し、外国人も含めた利用者サービスの向上に努めている。							A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
総評		A	A				総合評価		

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名:大原湖キャンプ場

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
大原湖キャンプ場		指定管理者への管理運営委託を行いました。(令和5年度～令和9年度)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設利用者の満足度が向上します。 施設利用者が増加します。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光ホスピタリティの充実	
事業開始背景等	恵まれた豊かな自然の中に滞在型観光レクリエーション活動の場を確保し、地場産業の振興等山口市の活性化を促進する目的をもって、平成10年4月に大原湖キャンプ場が設置されました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		カヌー等、湖畔の立地を生かした取組み、森林セラピー基地等、徳地地域全体や(株)モンベルと連携した取組みにより、大原湖キャンプ場の特色を生かした取組みを進める必要があります。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし			
効率性	類似事業との再編成		阿東エリアにオートキャンプ場である十種ヶ峰ウッドパークがありますが、大原湖キャンプ場はカヌーができるなど湖畔にあるキャンプ場で、それぞれ特色が異なります。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		現行の施設運営でより成果を上げるには、老朽設備の更新・修繕等も含め、相応の費用が必要と考えます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>コロナ禍で拡大した屋外施設利用ニーズからの反動により利用者数に減少が見られる中、今後も湖等自然資源を生かした広報や利用者ニーズを踏まえた企画事業を展開することや施設の老朽化に適切に対応することで、利用者数や収入の回復に努める必要があります。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:大原湖キャンプ場

指定管理者:徳地ふるさと資源活用協会

指定期間:令和5年度～令和9年度

評価項目			評価コメント	評価					評点		
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、簡易な修繕は独自に実施されている。					☆	3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われている。					☆	3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	担当者が確認を行う等、再委託先に対する適正な監督がなされている。					☆	3	
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	適正な人員配置がなされ、業務に必要な研修・教育・個人面談等が適切に行われている。					☆	3	
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地元業者の活用や、地域と連携した取組を実施している。					☆	3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった場合には、職員で情報共有されている。苦情に対し、対応の改善等が行われている。					☆	3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	休暇や福利厚生について配慮されている。					☆	3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	平等利用について適切な対応がされている。					☆	3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護及び関係書類の適正な管理がされている。					☆	3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	場内を見回り、危険箇所の確認を行っている。危険箇所については迅速な対応を行っている。					☆	3	
危機管理		・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	防犯・防災設備の点検・整備が適切に行われるとともに、避難訓練の実施や感染症対策の徹底など予防措置が講じられている。緊急時に備えた連絡網やマニュアルの作成など、危機管理体制が整備されている。					☆	3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	公式ウェブサイトやパンフレット、SNS等により、適切な情報提供が行われた。情報分析に基づき広報の方法を変更する等、効果的な営業・広報活動が行われている。					☆	4	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	テントサウナの運用等、利用者サービスの向上や利用促進への取り組みが行われている。					☆	4	
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	各種体験イベントが適切に実施されており、リピーター獲得にも繋がっている。					☆	4	
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者アンケートを実施し、施設管理・運営に意見を反映している。					☆	4	
	経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	より魅力的な自主事業の開催に努め、多くのリピーターを獲得した。					☆	3
			収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	コロナ禍で拡大した屋外施設利用ニーズからの反動や湖の水量によるカヌーの利用休止により利用者が減少し、収入も減少した。					☆	3
			安定経営	・安定的な経営が行われたか。	先述のとおり利用者が減少し、収入も減少したものの、客単価の上昇やコストカットに努めている。					☆	3
経理状況			・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月の報告及び経理事務は適正に管理されている。					☆	3	
評点合計				標準	57	加算	4	61			
審査結果	施設管理については、定期的に清掃、保守点検を行い、協定に基づき軽微修繕を実施するなど、良好に運営されている。コロナ禍で拡大した屋外施設利用ニーズからの反動により利用者数に減少が見られる中、今後も湖等自然資源を生かした広報や利用者ニーズを踏まえた企画事業を展開することや施設の老朽化に適切に対応することで、利用者数や収入の回復に努める必要がある。			年度評価			A				
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
				A							
総評				総合評価							

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市宮野地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民、宮野地域住民 ・県立大学生等 ・地域交流ステーション施設 		指定管理者制度を活用し、宮野地域交流ステーションの管理、運営を行いました。 ○指定管理期間 令和3年度～令和7年度 ○指定管理者 宮野自治連合会(非公募) ○開館期間 午前8時30分～午後10時 ○開館日 原則 毎日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
県立大学を始めとする高等教育機関の学生や地域住民等が、地域交流ステーションを交流の場として活用することで、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動を促します。 指定管理者制度による施設の適正な管理、運営を行います。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	安心して暮らせる日常生活圏の形成	
	基本事業	地域活動や市民活動を支える環境づくり	
事業開始背景等		宮野地域にある高等教育機関である大学と市民とが積極的に交流できる場を確保し、大学の持つ専門的な知識と住民の生活の知恵等を活かし、魅力あるまちづくりの推進のため施設を設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		令和4年度と比較すると利用者数は増加しています。 今後も地域におけるコミュニティ活動推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		決められた指定管理料のなかで経費削減や効率的な運営に十分努められていることから現状手段が適切です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
		<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である宮野自治連合会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市宮野地域交流ステーション 指定管理者: 宮野自治連合会

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目		評価コメント		評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	窓口での受付はスムーズに行われている。また、施設の施錠も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に巡回して清掃を行い、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託業者に対して、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	定期的に職員1名が施設内で待機している。ボランティアを活用した際には研修等を行うこととしている。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	毎月1回第4土曜日に、定期利用団体と協働し、施設内外の清掃を行っている。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった際には、運営委員会で報告・協議を行い、適切に対処している。 利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報に関する書類等は施錠して保管するなど、適切に対応している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事故の事前防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時には、市を含めた関係各所へ連絡するよう連絡体制を整えている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	自治連総会でステーションの活動報告や情報発信等を行っていることに加え、インターネットのフェイスブック等SNSを活用し、積極的に情報発信を行っており、利用者数の拡大につながっている。			☆			4
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	常に施設内外の環境美化や自転車置場の整理・整頓に配慮されており、加えて駅利用者へ無料貸出傘や無料貸出本を設置し、利用者サービスの向上に向けて取り組んでいる。			☆			4
	利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	大学受験生を対象とした手荷物の預かりや、入学・卒業のお祝い看板の設置に加え、地域づくり協議会との共催による着物喫茶などに取り組んでおり、大学生と地域住民の交流の機会が創出され、コミュニティ活動の増進が図られている。また、地区社協、民児協と連携し、要援護者等の避難所としてステーションを開設する体制づくりにも取り組んでいる。				☆		5
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者アンケートを実施し、意見・要望を対応可能な範囲で管理運営に反映している。また、常時要望を受け付けることができるよう意見箱を設置している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料の中で、適正に運営が行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	計画的な施設管理及び事業運営が為されている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者報告及び経理事務は、適正に処理されており、毎月の利用状況についても報告が行われている。			☆			3
評点合計				標準		51	加算	4	55	
審査結果	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されており、物価高騰の中においても指定管理料の中で適切に安定的な運営が行われている。また、駅利用者へ傘や本の無料貸出しを行うサービスに取り組んでいるほか、イベント等を通じた県立大学生との交流事業に積極的に取り組まれており、今後も引き続き大学と市民との交流機会の創出が見込まれるほか、フェイスブック等SNSを通じて広く活動を紹介するなど、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動に取り組まれている点が評価できる。								A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A	A						
総評				総合評価						

事務事業評価報告書

施設名：山口市大歳地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民、大歳地域住民 ・地域交流ステーション施設		指定管理者制度を活用し、大歳地域交流ステーションの管理、運営を行いました。 ○指定管理期間 令和4年度～令和8年度 ○指定管理者 大歳まちづくり協議会(非公募) ○開館時間 午前8時30分～午後10時 ○休館日 月曜日、年末年始	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域住民等が、地域交流ステーションを交流の場として活用することで、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動を促します。 指定管理者制度による施設の適正な管理、運営を行います。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	安心して暮らせる日常生活圏の形成	
	基本事業	地域活動や市民活動を支える環境づくり	
事業開始背景等		平成23年に開催された国民体育大会の来場者をおもてなしするための施設として、JR大歳駅舎を整備・活用し、国体終了後は地域づくりやコミュニティ活動を中心とした「まちづくり」をするための施設として設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
	<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		令和4年度と比較すると利用者数は増加しています。 今後も地域におけるコミュニティ活動推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
決められた指定管理料のなかで経費削減や効率的な運営に十分努められていることから現状手段が適切です。			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である大歳まちづくり協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市大歳地域交流ステーション 指定管理者: 大歳まちづくり協議会

指定期間: 令和4年度～令和8年度

評価項目		評価コメント		評価					評点	
				不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀		
				(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	窓口での受付は、スムーズに行われている。また、施設の施錠も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	地域内の障害者就労施設に清掃を委託し、施設の維持管理を適切に行っており、同事業所へ継続的に業務を委託していることは、市の障害者就労施設等からの物品等の調達方針の趣旨を大いに理解していると判断できる。				☆		4
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託業者に対して、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の利用状況を考慮し、適正な人員配置がなされている。			☆			3
		地域連携	・溝掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	施設の清掃を委託している地域内の障害者就労施設と一緒に、合同消防訓練を実施するなど関係団体と連携が図られている。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった際は、迅速に対応している。利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報に関する書類等は施錠して保管するなど、適切に対応している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事故の事前防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時には、市を含めた関係各所へ連絡するよう連絡体制を整えている。また、防災救急セットの備えやAEDの設置、訓練もされている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	センター日よりやまちづくり協議会が発行する「かわら版おとし」(大歳地域に全戸配布)で、施設の広報を行っている。加えて、インターネットの動画配信サイト等を活用し、より多くの人が閲覧し、利用促進につながるよう取り組まれており、利用者数の拡大につながっている。			☆			4
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。また、自主事業を通じて利用者の拡大に努める等、施設の利用促進を図っている。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	大歳駅待合室による四季の写真展の開催、SL・DLやまぐち号歓迎手旗を作成し設置するなど積極的に施設利用拡大のための取組がなされている。また、レノファ山口の応援駅として、市のPR事業に協力している。			☆			4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。アンケートの結果については、内容を検討し、可能な限り管理運営に反映している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料の中で、適正に運営が行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的に施設利用があり、計画的な施設管理及び事業運営がなされている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者報告及び経理事務は、適正に処理されており、毎月の利用状況についても報告が行われている。			☆			3
評点合計				標準		51	加算	3	54	
審査結果	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されており、物価高騰の中においても指定管理料の中で適切に安定的な運営が行われている。特に、地域内の障害者就労施設からの優先的な業務調達が図られている点が評価できる。また、自主事業としてSL・DLやまぐち号歓迎手旗を作成し、発着時に観客に手渡しを行ったり、レノファ山口の応援駅として市のPR事業に協力している。インターネットの動画配信を利用した活動の周知を行うなど、施設の利用拡大に積極的に取り組み、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動に取り組まれている点が評価できる。			年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価			
		A	A							
総評										